

地域を
元気にする



芥見東 シニアクラブ便り

令和6年2月15日 発行責任者 船坂民平

新年早々の1月1日午後4時10分、能登に震度7強の地震が発生。もう6週間予が過ぎて漸く復興の兆しが見え始めた。まだまだ電気、水道、道路など完全復旧にはほど遠いが明るいニュースが紙面に見られるようになって、ほっとした気分になる。

2月に入って輪島市で仮設住宅が10軒、珠洲市で40軒できた。6日に石川県の小・中学校の休校が解消した。車中泊や避難所を転々と移動していた障害者家族に漸く居場所が見つかった。ドジャースに移籍した大谷翔平選手からの日本国内全小学校に寄付されたグローブが能登にも届き、子どもたちは大喜び、子供たちの遊びに弾みがついた。大相撲の人気力士、能登出身の遠藤と初場所で大活躍をした大の里が避難所を訪問して、激励した。そして反って激励されたという力士。輪島の観光名所、輪島朝市が金沢で開催されることが決まり、復活に向けた第1歩を踏み出した。県内、県外からのボランティアの受け入れ態勢が各地域で徐々に整いつつあるなど、復興へ向けた足取りが見え始めたのは何よりの朗報である。

「能登はやさしや一被災地とともに」(中日新聞)石川県と所縁の深い漫画家、東村アキコさん、「文化を伝えるために描く 強い絆で冬を乗り切って」というメッセージを載せている。「知らない人もいますと思いますが、能登の歴史や文化、伝統、工芸品は本当にすごいです。その1部が失われた悲しみもあります。でも営業している伝統工芸品のお店もあるので、こういう時こそ「買わないと」で思っています。インターネットでも買えるのです。

私、大学は金沢美術工芸大だったので、在学中は能登によく往っていました。スケッチしたり、ドライブしたり、輪島の防波堤で1日中釣りをしたこともあります。春にドライブすると、山の方はジブリ作品の世界みたいにきれいです。木造建築も本当にタイムスリップしたみたいに美しいです。

私は宮崎県生まれですが、石川県にいた頃の4年間は漫画を描く上で本当に役立っています。第二の故郷だと思っています。私のできることなんて本当になにもないんですけど、漫画家として自分ができる形で応援していこうと思っています。能登の皆さんの結びつきの強い絆で、どうかこの冬を乗り切って欲しいです」

桜会の解散

2月6日、芥見東シニアクラブの役員会の席上、梶桜会会長から桜会解散の報告を聞いた。2月2日の桜会総会で会員一人一人の声を聞き、多数の意見で解散が決まった。難聴が理由で会長を辞退、次の会長が選出できないというどこの地区でも共通の課題が桜会でも発生した。昨年の柏葉クラブの解散もそうであった。芥見東シニアクラブと呼称を替え、スタートを切って3年目、残念で致し方ない。どの地域でも後期高齢者ばかりで、後継候補が見つからないという現実はどう考えても解決の方途が見つからない。私が会長になって、3年、3つあった地区老人会が1つになってしまった。そのことについては、会長としての非力を痛感している。申し訳なく心からお詫びをしたい。今後、解決しなければならない課題は山積している。まずは、「芥見東シニアクラブ」の解消を地域の各種団体や市老連、東部地区に連絡し、これまでのお礼とお詫びをしたい。

能登地震被災者への支援募金、ご協力ありがとうございました。

シニアクラブ役員の敏速な対応ではほぼ1週間で募金の集計ができました。皆様の温かい気持ちが集まって予想以上の募金が集まりました。結果として12万円の義援金。その内訳は、次の通りです。芥見東シニアクラブ会員より94,145円、芥見東シニアクラブの会計より5,855円、上記の計は10万円。それに北山女性麻雀教室から2万円、被災者への御見舞金として頂きました。感謝感謝です。13日 合計金額、12万円を「清流クラブ岐阜」本部へ届けました。



元気が一番 つながる仲間 寿楽会 便り

2月号

2月7日
発行責任者
船坂民平
(TEL. 241-8430)

2月5日現在、能登地震での死亡者は240人、行方不明者は15人。平成7年1月に起きた阪神淡路大震災の死亡者は6,434人。平成23年3月に起きた東日本大震災の死亡者は19,759人、行方不明者は2,553人。犠牲者の数だけでは能登地震は少ない。ただ、地震発生1か月を過ぎてもなお避難者が14,000人。しかも断水、停電、家屋の崩壊、道路の寸断、稼業、家業の復旧見通し不明。1次共同避難所や2次避難所もいくつかの問題を抱えながらの生活。先が見えない不安との戦いが続いている点では、阪神地震や東日本大震災と同様 能登地震は深刻な課題を引きずっている。この能登地震で新たに分かったのは、65歳以上が7割という超高齢化や超過疎地の典型であることである。隣県だけに、厳しい生活を余儀なくされている被災者への懸念は限りなく深い。

「冬来たらば 春遠からじ。 朝が来ない 夜はない」を信じながら

車中泊や破壊された自宅近くのビニールハウスで寒さに耐えながらも、なぜ避難先へ行かないのか。その声を拾ってみた。

- ① 汲み取りの避難所では、安心して着替えができない。トイレが水なしでは不便。安眠できない。プライバシーが保てない。
- ② コロナ感染が怖い。
- ③ 生まれ育った場所での近所付き合いは絆が深く、気心が分かっているから安心。
- ④ 周りが知らない人ばかりだと、ストレスがたまってしまう。

2次避難先がホテルや旅館の場合、観光客を迎える準備をする3月4月には次の避難先を捜さなければならない。生きるための仕事を捜さなければならない。

「能登はやさしや一被災地とともに」(中日新聞)で石川県輪島出身 永井豪記念館もある著名人、漫画家の永井豪さんは次のように語っている。

「今年は開館15周年で、たくさんイベントを用意してくれました。私も『なんでも協力する。楽しいものにしたい』と話していたところなのに、今回の地震で記念館は全焼してしまいました。輪島で暮らしている親族も被災しました。なかなか連絡がつかせませんでした。幸い全員無事でした。

被災地の方々には、「前に進もう」というメッセージを伝えたいと思っています。私の個人的願望ですが、今回の地震から立ち上がり、新しいまちづくりを通して、大きな未来をつかんでほしい。例えば東京が関東大震災や太平洋戦争から復興したように新たなフロンティアになれるのではないのでしょうか。過疎高齢化が吹っ飛ばすような、新しい町になってほしいです」

能登地震被災者への支援募金へのご協力 有難うございました

1月26日、寿楽会役員会で今回の能登地震で被災した石川県老人クラブの方々への緊急支援募金について、相談し、募金の封筒を各班長さんに渡しました。早速班長さんが動いて、28日にはすべての班で封筒が回収できました。29日、副会長中島さん、会計渡辺さんの立ち合いで開封しました。その結果は、次の通りです。

1万円	5千円	千円	500円	100円	50円	10円	5円	1円	合計
1	2	33	6	17	6	12	3	10	
10,000	10,000	33,000	3,000	1,700	300	120	15	10	58,145円

会員各位の厚い支援にお礼を申し上げます。この支援金と桜台の支援金を合わせ、端数のお金をシニアクラブの会計からプラスして、市本部へ届けます。

脳トレクイズ

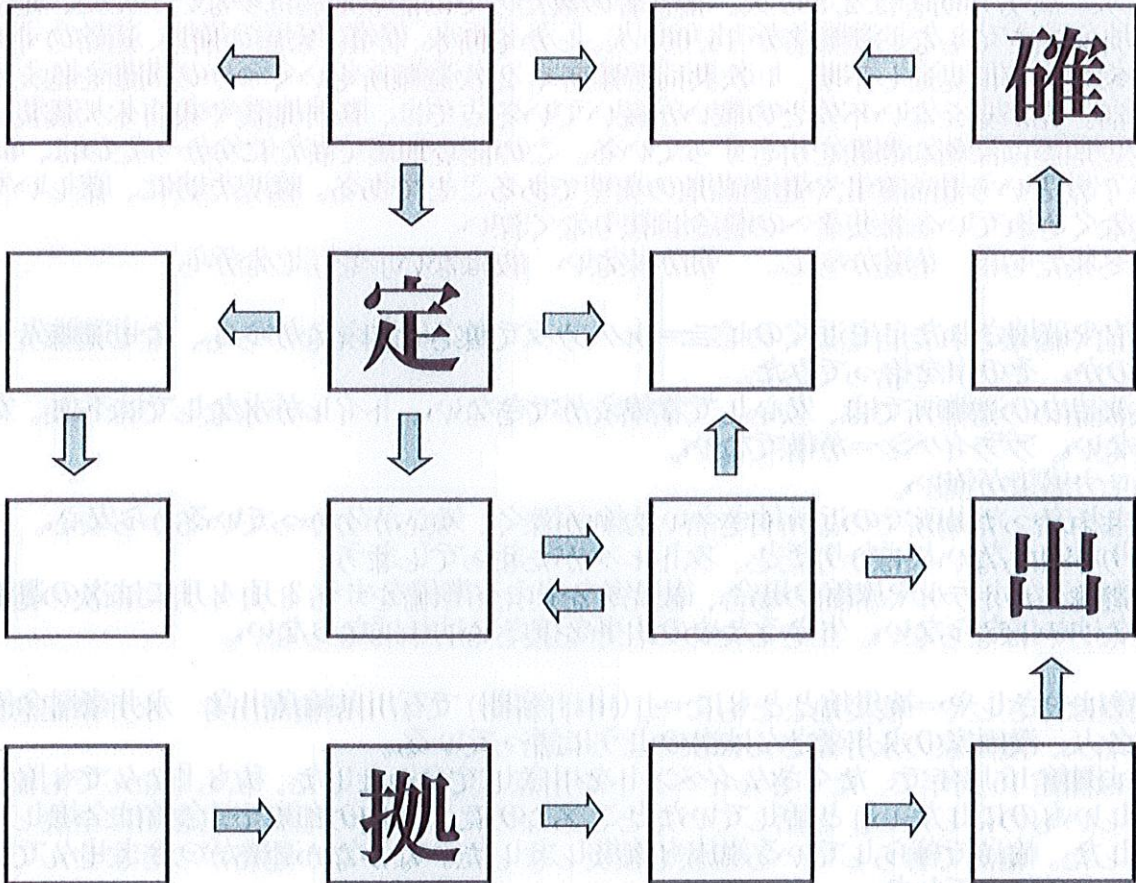
漢字矢印クイズ

矢印の方向に読む2文字の熟語を作ってください。

候補の中から熟語を完成させる漢字を選んでください。

候補の漢字は1個しか使用できません。

選ばずに残った漢字を組み合わせることができる熟語を教えてください。



候補						
体	固	執	年	規	員	明
則	数	人	根	金	点	検

残った漢字を組み 合せてできる熟語	

1月号解答

